

平成26年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成26年9月24日(水) 米海兵隊岩国航空基地内 中国四国防衛局岩国監督官事務所 会議室
委員	神野 智文(委員長/前財団法人客員研究員) 森嶋 久雄(不動産鑑定士) 藤井 堅(大学院教授) 伊藤博文(税理士) 以上4名 爲末 和政(弁護士)は欠席

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成26年3月1日 ~ 平成26年6月30日		
審議対象件数	72件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	6件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 ・建設コンサルタント業務等 「報告事項」 ・低入札事案について ・不調事案について ・指名停止等の措置状況について	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		3件
	一般競争(政府調達協定対象外)		2件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	1件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【現場視察】 《岩国飛行場(H25)愛宕山(運動施設地区)敷地造成工事》 ・意見等なし。</p> <p>《岩国飛行場(H25)小学校新設建築その他工事》 《岩国飛行場(H25)高校新設機械工事》 ・意見等なし。</p> <p>《岩国飛行場(H25補)倉庫新設等設備設計》 ・意見等なし。</p>	<p>・工事現場の視察を実施、工事内容について説明を行った。</p> <p>・工事現場の視察を実施、工事内容について説明を行った。</p> <p>・現場の視察を実施、業務内容について説明を行った。</p>	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【抽出案件】</p> <p>○建設工事</p> <p>【一般競争入札】</p> <p>《岩国飛行場（H25）小学校新設建築その他工事》 （政府調達協定対象）</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事案中契約金額が一番高額であったため。 ・高額にもかかわらず、入札参加者が2者と少ないため、理由について説明されたい。 ・落札率が高率100%に近い理由は。 ・予定価格を算出する中で、見積もりが占めるウエートはどの程度なのか。 ・残りの三分の二は独自に積算して、見積もり部分と併せて予定価格にしているということか。 <p>【一般競争入札】</p> <p>《岩国飛行場（H25）高校新設機械工事》 （政府調達協定対象）</p> <p>【抽出理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が15者と多いにもかかわらず落札率が94.10%と高いため。 	<p>・岩国基地内では現在数多くの工事が実施されており、また、全国的に建設労働者不足が叫ばれている中で、この規模の工事を工期内に完成できる会社がそう多くはなかったこと。</p> <p>さらに、競争参加資格の設定で企業及び配置予定技術者に求める同種工事の実績を建物2棟の合計面積の70%程度としたことなどから、これらの要件を満たすことのできる参加者が少なかったことが要因ではないかと考えている。</p> <p>なお、入札参加要件について、現在、企業に求める同種工事の実績は、対象建物面積の60%程度に、配置予定技術者については、更にその半分にするなどの条件緩和に努めているところである。</p> <p>・入札不調対策としての見積活用方式を採用しており、型枠、鉄筋、左官については応札者から見積もりを取って、ある程度応札者の価格を織り込みながら予定価格を作成している。これが高落札の一つの要因と考えられる。</p> <p>・本件の場合は、三分の一程度であった。</p> <p>・そうである。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・参加者が15者と多いにもかかわらず落札率が高い理由を説明されたい。</p> <p>・無効になった7者についての金額の開差についてはどの程度か。</p> <p>・技術提案①というのとはどのような内容なのか。</p> <p>・小学校においても機械工事の発注があるのか。</p> <p>・通常、機械工事と建物本体とは別に発注するのか。</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H25）愛宕山（運動施設地区）敷地造成工事》 （政府調達協定対象） 【抽出理由】 ・参加者が21者と多い。落札率への影響は。</p> <p>・事案中参加者が最も多かったが、落札率には余り影響がないのか、落札率が高い理由について説明されたい。</p> <p>・評価点が高い。40点の者が結構多いようだが。</p>	<p>・本件は施工体制確認型であり、その中で無効が7者あった。有効な入札金額において、金額が一番安価なところは約92%程度であったが、今回落札した者は評価点が高かったため逆転したものである。</p> <p>・一番低かったものが71%程度で、一番高かったものは89%であった。</p> <p>・本施設には体育館が含まれ、「大空間における空調ダクトの施工品質の確保について」という技術提案を求めている。</p> <p>・既に発注している。</p> <p>・基本的に分離発注を行っている。</p> <p>・入札金額が調査基準価格を下回った場合、追加資料の提出を求め、その資料の提出が出来ない場合は、無効となることから、参加者が多い場合は、落札率は88～90%になる傾向が見られる。</p> <p>・土木工事で技術提案を求めると40点満点を取る者が半分程度いる。総合評価落札方式の制度ができて数年経っており、各社は当局のみならず、他省庁等を分析し、どのようなものが有効として認められるのかというノウハウを蓄積されているからではないかと思われる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・技術提案の評価は局の委員会でののか。</p> <p>【一般競争入札】 《米子（25補）建物解体等工事》</p> <p>【抽出理由】 落札率が99.86%と高い。 入札参加者3者のうち2者が辞退している理由は何か。 また、入札回数が3回と多くなった理由は何か。</p> <p>・2者が入札辞退している理由について説明されたい。</p> <p>・落札率が高い理由は。</p> <p>・入札回数が多い理由は。</p> <p>・評価点の中で、「企業の施工能力」の配点が33点ある中、最高点が8点というのは低いのではないか。</p> <p>・何点くらいあれば施工能力があると認められるのか。</p>	<p>・素点は担当課が作成し、それを技術部会で審査・評価したものを競争参加資格等審査委員会で審議する。</p> <p>・入札金額を積算した結果、当局が公表している発注見通しの価格帯と積算金額が折り合わなかったため、2者が辞退したとのことであった。</p> <p>・本工事は、解体工事であるが、解体する建物13棟は基地内に分散しており、建物のほかに付帯土木や設備の解体も含んでいるほか、米子市の公共下水道化に伴い、米子駐屯地内の関連施設を下水道へ接続する工事も含んでいることから、小規模工事の割には工種が多く、工事受注者にとっては魅力が小さく感じられたため入札参加者が少なく、落札率が高くなったのではないかと考えている。</p> <p>・入札回数は原則2回としているところであるが、本工事に含まれている公共下水道への接続工事については、期限が決められていることから、入札参加者に再度の入札参加の意向を確認した上で3回目の入札を行った。</p> <p>・優秀工事表彰を受けたり、施工実績が優良である等、すべて当てはまった場合に33点となるので、33点分の8点だからといって、施工能力が低いということではない。</p> <p>・欠格事項に当てはまらなければよい。例えば、公共工事の実績がなく民間工事の実績のみであれば0点という評価もあるが、0点であっても施工能力は認められる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争入札】 《呉(25)飛渡瀬燃料施設等撤去工事》</p> <p>【抽出理由】 米子(25補)建物解体等工事と比較して入札参加者多く、落札率が67.18%と低い理由は何か。</p> <p>・米子(25補)建物解体等工事と比較して入札参加者多い理由を説明されたい。</p> <p>・低入札案件であったという事であるが、落札率が67.18%と低い理由を説明されたい。</p> <p>○建設コンサルタント業務 【一般競争入札】 《岩国飛行場(H25補)倉庫新設等設備設計》</p> <p>【抽出理由】 高落札率(99.01%)であるため。</p> <p>・高落札率である理由は何か。入札回数が多いと高落札率となるのか。</p>	<p>・本工事は、地上式燃料タンク撤去、既設建物解体及びこれに付随する設備関係の撤去となっているのに対し、米子(25補)建物解体等工事は、建物解体及びこれに付随する設備関係等の撤去の他に、公共下水接続に関する汚水排水管等の新設が含まれている。本工事は、工事の内容に新設工事が含まれていない単純な撤去工事のみであることが、入札参加者の多い理由と思われる。</p> <p>・落札率が低い理由については、低入札価格調査の結果、本件工事において使用する資機材等が自社所有分でほぼまかなえること、解体工事は得意分野であり作業的なコストダウンがはかれること、工事現場近傍(約300m)に本社を構えていることから現場経費の節減が可能、という理由から低落札率となった。</p> <p>また、本工事は撤去工事であり、施工体制確認型総合評価落札方式ではないことから、調査基準価格を下回っても追加資料の提出を要しないことからこのような落札率となった。</p> <p>・回数が多いうのは予定価格以上の札入れが繰り返されているという事なので、どうしても高落札率となる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・入札を切り上げるかどうかの判断はどうするのか。</p> <p>・過去に5回くらい入札しているものもあったと記憶しているが。</p>	<p>・2回目までの入札状況、開差など、総合的に判断して支出負担行為担当官に説明し、了解を得た上で3回目を行っている。 何回入札をしても落札に至らないと判断した場合は入札を打ち切る場合もある。</p> <p>・発注計画全体のスケジュールにより、5回目の入札を実施することもある。 場合によっては相手が入札する意思がなくなるまで継続することも可能であると考えている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【報告事項】</p> <p>○低入札事案について（3件）</p> <p>○不調事案について（2件）</p> <p>○指名停止等の措置状況について（6件）</p>	<p>なし。</p> <p>なし。</p> <p>なし。</p>
<p>○委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談 合 疑 義 件 数		0 件	(審議概要) なし
工 事	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
業 務	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
		意 見 ・ 質 問	回 答
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等		なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審 議 概 要	なし	
	意 見 ・ 質 問	回 答
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0 件	（備考） なし	
建設工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公募型指名競争		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）		申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等		意見・質問		回答	
		なし		なし	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			